

クニミネ工業株式会社

2021年3月期
第2四半期 決算説明会

2020年12月10日
東証一部

証券コード：5388

1 業績サマリー

2 2021年3月期 第2四半期決算概要

3 2021年3月期 通期見通し

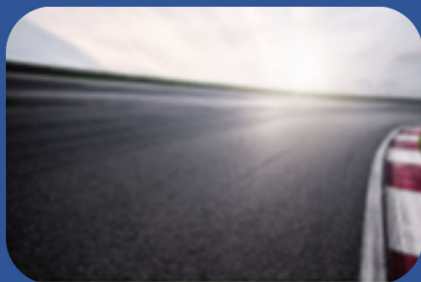
4 中期経営計画 (2019年3月期－2021年3月期)



グループ全体 ⇒ 減収減益
アグリ事業で増収増益、
ベントナイト事業、化成品事業は減収減益



アグリ分野 ⇒ 増収↗(前年同期比17%増)
従来下期集中していた生産時期の一部前倒しにより増収



鋳物分野 ⇒ 減収↘(前年同期比30%減)
コロナ禍による市況不況で大幅減収

1 業績サマリー

2 2021年3月期 第2四半期決算概要

3 2021年3月期 通期見通し

4 中期経営計画 (2019年3月期－2021年3月期)

2021年3月期 第2四半期決算概要

- 上期計画は、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから、未発表としています。

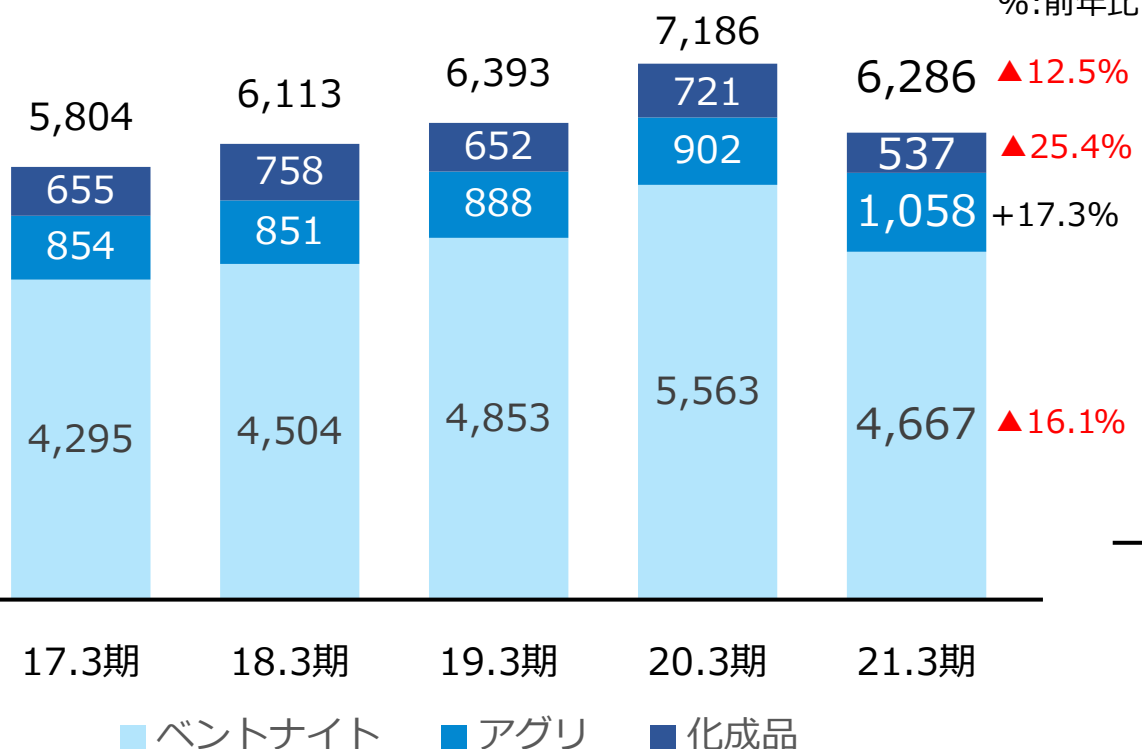
(百万円)	2020年3月期 上期	2021年3月期 上期(実績)	前年同期比	2021年3月期 上期(計画)	計画比
売上高	7,186	6,286	▲12.5%	-	-%
営業利益	670	712	+6.3%	-	-%
経常利益	749	787	+5.1%	-	-%
当期純利益	580	512	▲11.7%	-	-%

セグメント別業績（上期）

セグメント別 売上高

(百万円)

%:前年比

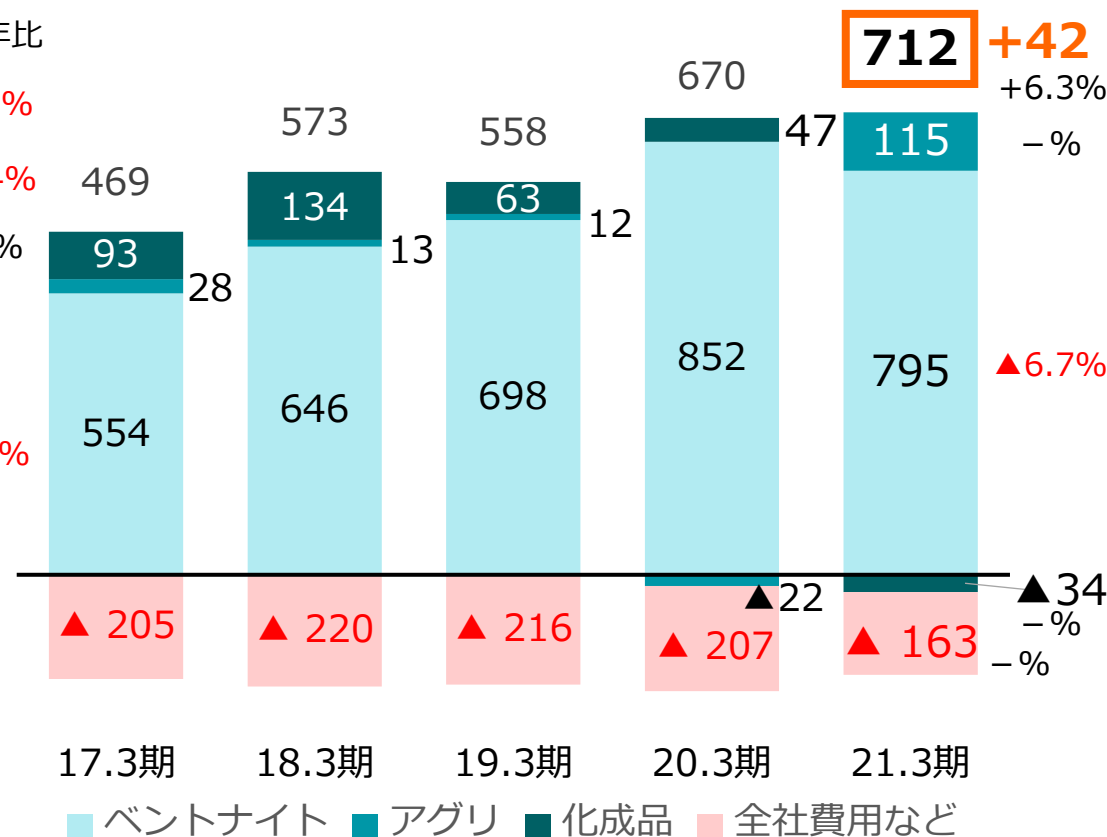


※21.3期合計にライフサイエンス:23を含む

セグメント別 営業利益

(百万円)

%:前年比



- ベントナイト…新型コロナウイルス影響により、利益押し下げ
- アグリ…受託生産の一部前倒しにより増収増益
- 化成品…輸出向けを中心に各分野の需要減に伴い減収減益

ベントナイト事業 売上 営業利益 内訳

(百万円)	売上				営業利益			
	20.3期(上期)	21.3期(上期)	前年差	前年比	20.3期(上期)	21.3期(上期)	前年差	前年比
鋳物	2,767	1,932	▲835	▲30.2%	394	188	▲206	▲52.3%
土木	2,412	2,402	▲10	▲0.4%	480	599	119	+24.8%
内)土木一般	1,642	1,517	▲125	▲7.6%	310	296	▲14	▲4.5%
内)復興関連	770	885	115	+14.9%	170	303	133	+78.2%
ペット	382	333	▲49	▲12.8%	▲22	6	28	—%
ベントナイト計	5,563	4,667	▲896	▲16.1%	852	795	▲57	▲6.7%

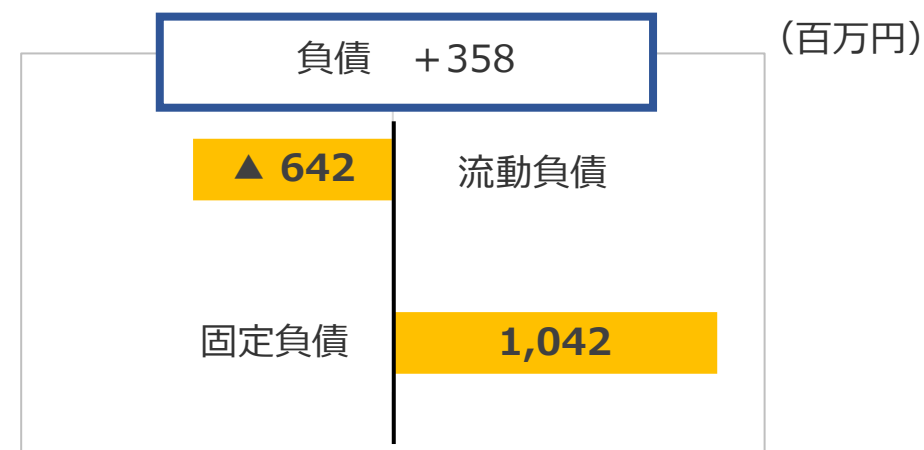
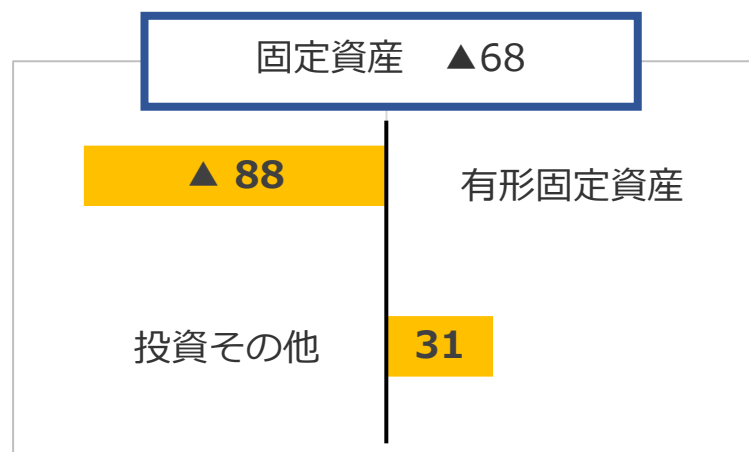
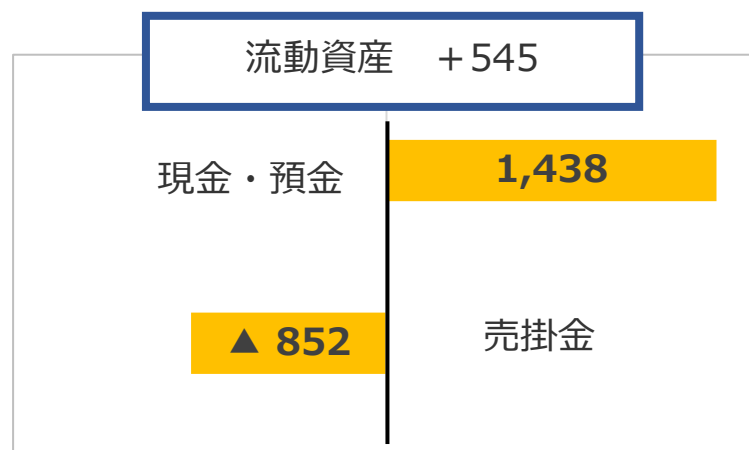
- 鋳物…第一四半期の自動車関連の不振により減収減益
- 土木…復興関連の需要が増加するも、一般土木が減少
(オリンピック開催想定による工事の減少)

2021年3月期 第2四半期貸借対照表の概要

2020年3月期
総資産 21,918百万円

+477百万円

2021年3月期 第2四半期末
総資産 22,395百万円



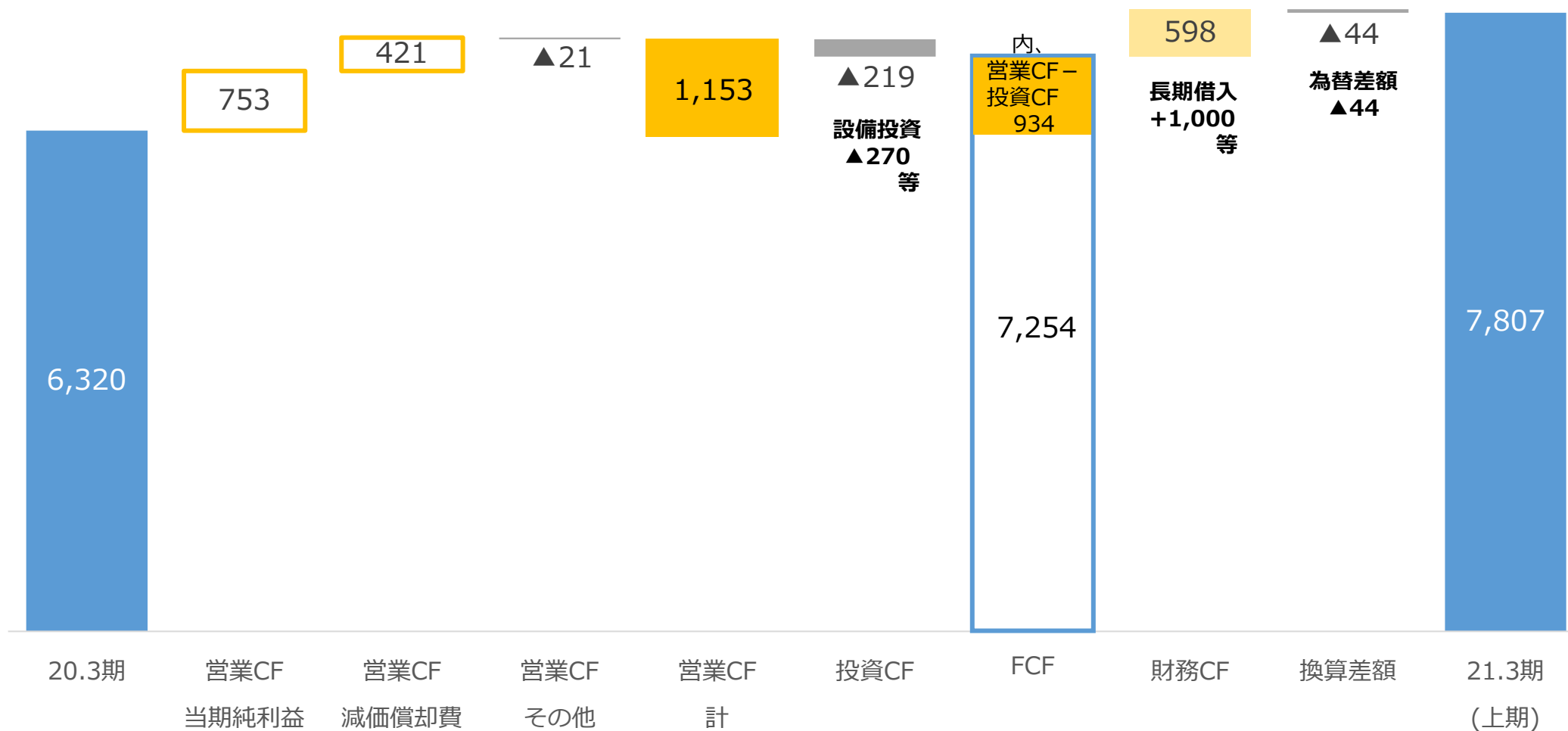
純資産 18,584 +119

自己資本比率 81.3% ▲1.3%

※グラフは主たる項目のみ記載

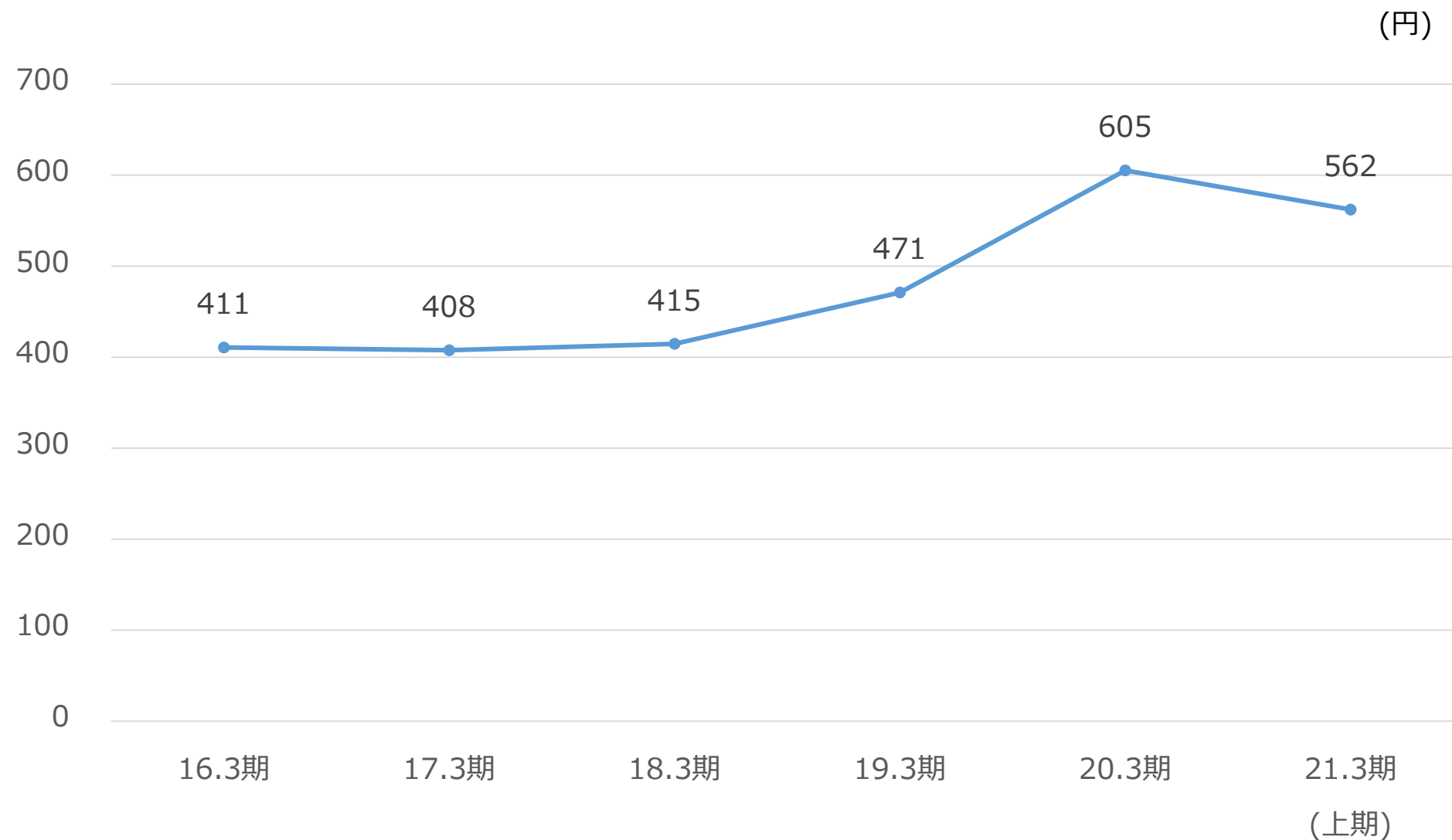
キャッシュフロー要約

(百万円)



※FCF = 前期末現金 + 営業CF + 投資CF

一株当たりフリーキャッシュフロー



※長期借入金10億円は含まず

1 業績サマリー

2 2021年3月期 第2四半期決算概要

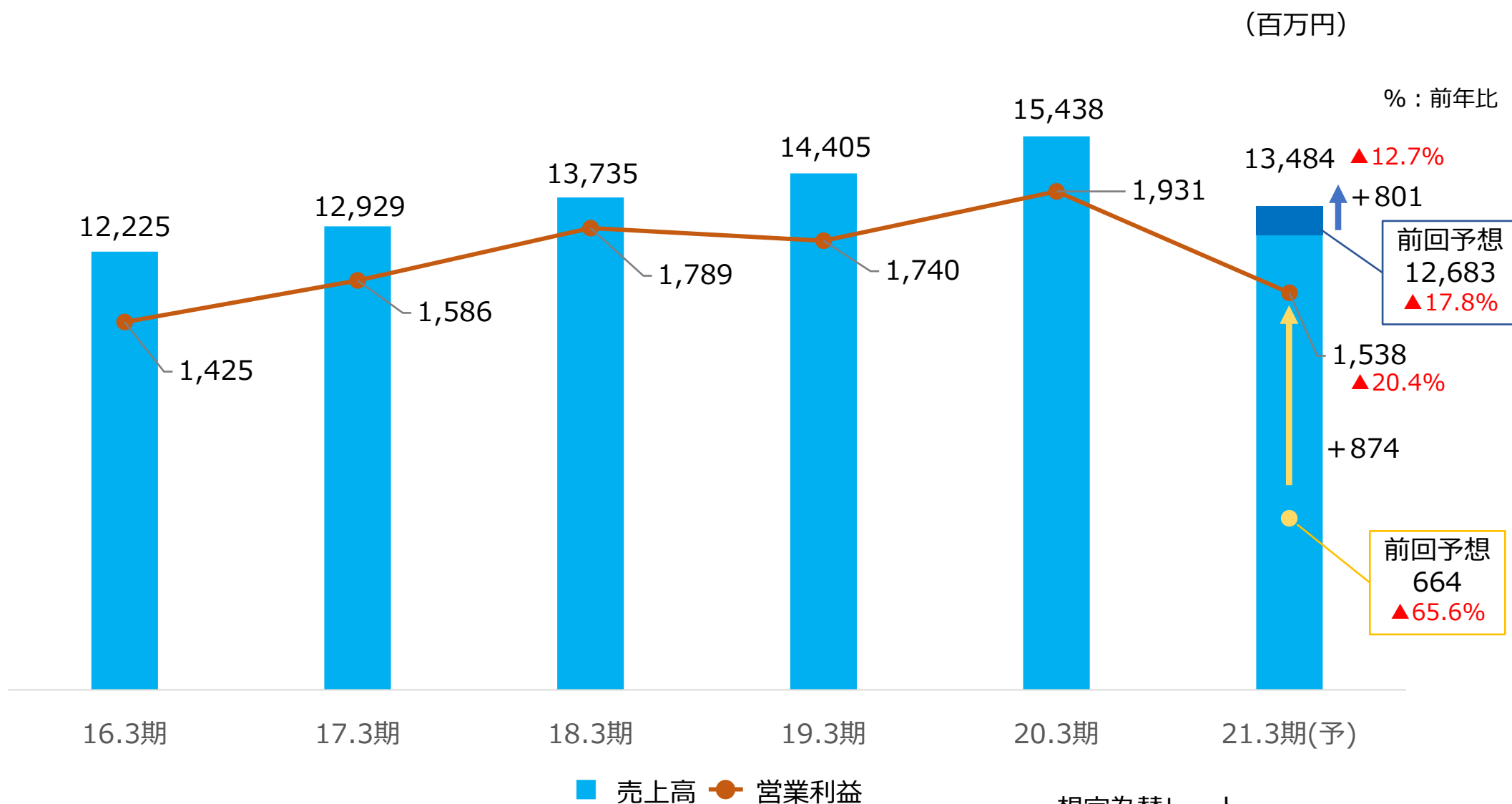
3 2021年3月期 通期見通し

4 中期経営計画 (2019年3月期－2021年3月期)

新型コロナウイルスの当社への影響と対応

	当社への影響(期初想定)	当社への影響 (上期終了時点)	対応
全般	3年程度は影響が続くと予想	3年程度は影響が続くと予想 (期初想定から変更なし)	財務基盤の安定・強化を図る ⇒ 現金を厚めに備える (設備投資見直し、長期借入金活用) 設備投資見直し額、約7億円 webを活用した業務スタイルへの転換 ⇒ 経費削減 リモートワーク推進 感染防止策を徹底
ベントナイト (鋳物)	自動車向け需要減に伴い、鋳物分野の売上減の見通し	5月を底に回復基調。対前年同月比で9月:92.3%、10月:93.2%、11月:97.8% 下期も回復基調は続く想定 <u>ただし欧州等の第3波が懸念事項</u>	設備投資の見直しや原料再編による製造経費圧縮および鋳物周辺の新規商材等による事業展開を加速する 鋳造設備、試験機等を積極的に提案
ベントナイト (土木)	現状では工事停止等の影響は限定的 復興関連需要への影響なし	上期、コロナによる復興関連需要への影響なし 下期、需要増により復興関連上方修正 上期、東京五輪影響で工事数が少なかった	原料の再編による製造経費圧縮を図る 工事遅延や緊急対応に備え、安定供給体制の確保を進める 復興関連で需要増、安定供給体制を強化
アグリ	農薬は例年並みの需要の見通し ⇒ 受託製造への影響なし 海外原体輸入リスクの影響懸念	上期、影響なし。海外原体輸入リスク懸念は顕在化せず 下期も例年並み需要と予想	引き続き生産性向上および製剤技術向上を推進する
化成品	セラミック向け等各分野の需要減に伴い、ファインケミカル分野での売上減の見通し	上期、ファインケミカル全般で想定以上に需要が低調 下期、欧州のコロナ第3波懸念はあるものの、一般工業用途向け輸出が回復の兆し	引き続き新分野・新商品開発を推進する

2021年3月期 通期業績予想

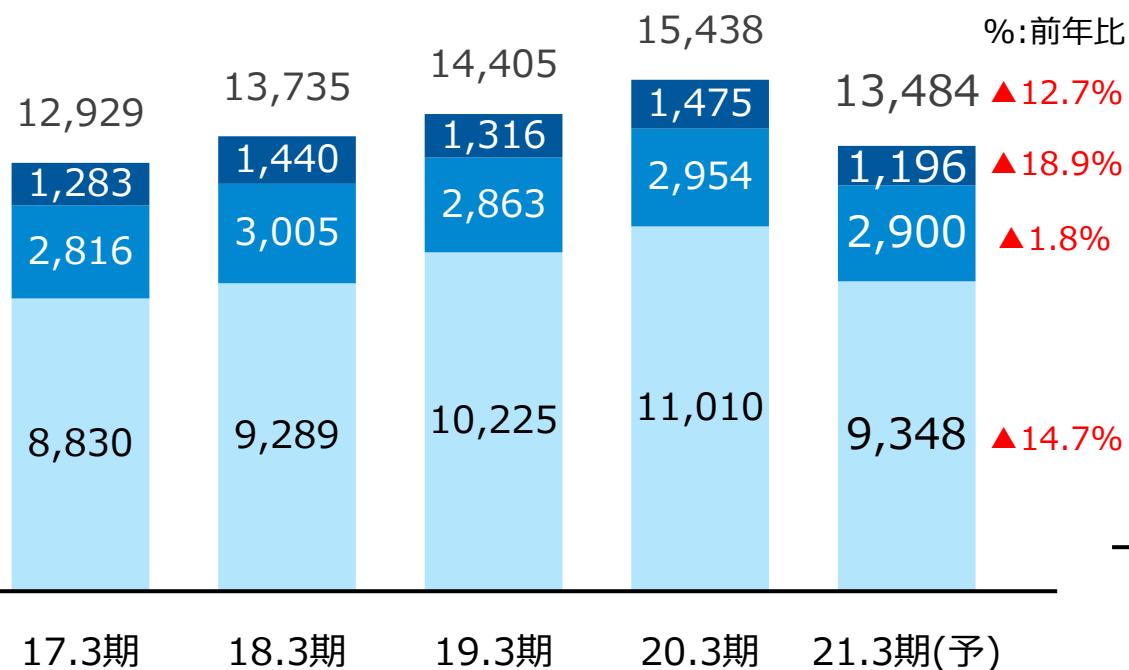


想定為替レート
 前回予想 115円/ドル
 今回予想 108円/ドル

セグメント別業績予想（通期）

セグメント別 売上高

(百万円)

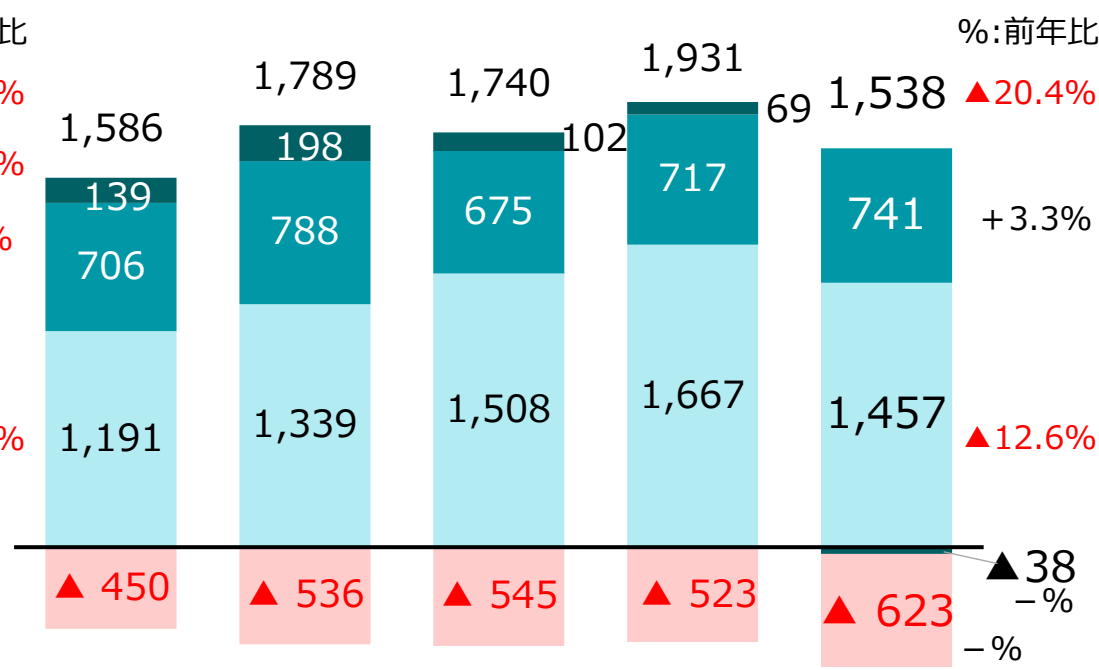


■ ベントナイト ■ アグリ ■ 化成品

※21.3期合計にライフサイエンス:40を含む

セグメント別 営業利益

(百万円)



■ ベントナイト ■ アグリ ■ 化成品 ■ 全社費用など

- ベントナイト…新型コロナウイルス影響、未来投資(資源探査、採掘技術開発等)により、利益押し下げ

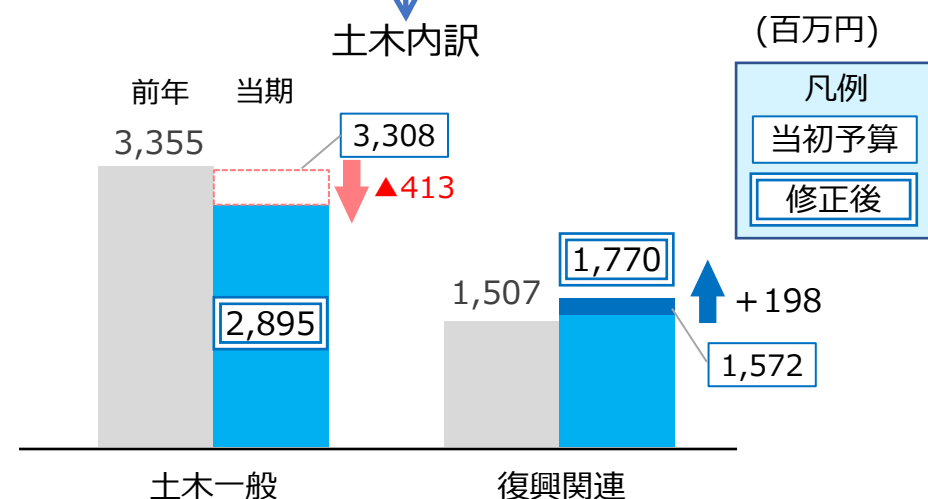
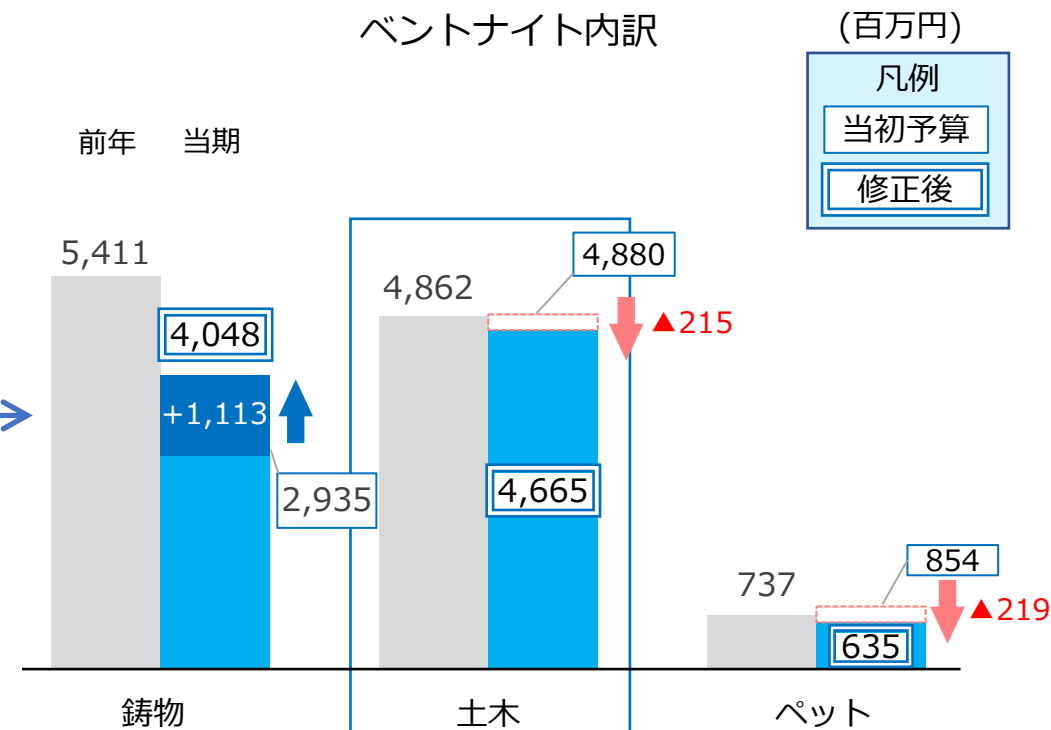
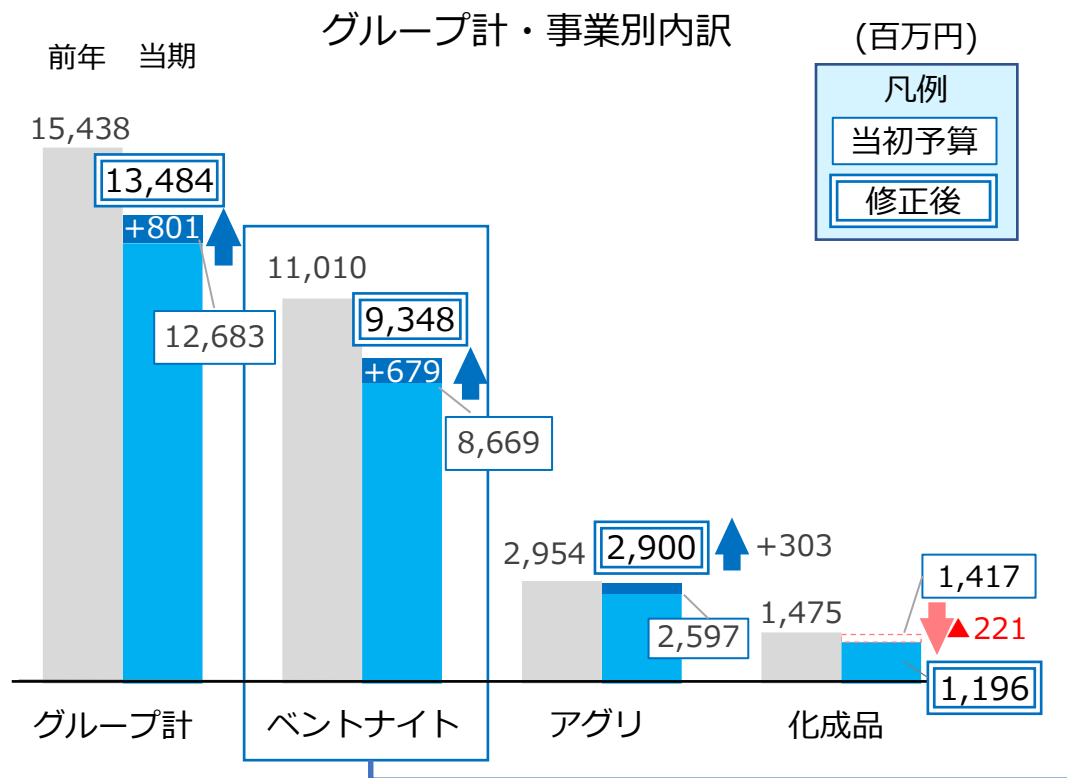
- ・ 鋳物…自動車関連の不振により減収減益の見通し
- ・ 土木…復興関連が好調維持

※新鉱区開発のための経費として販管費増

- アグリ…受託生産の平準化並びに生産品目の見直しにより増益

- 化成品…セラミック向け等各分野の需要減に伴い減収減益

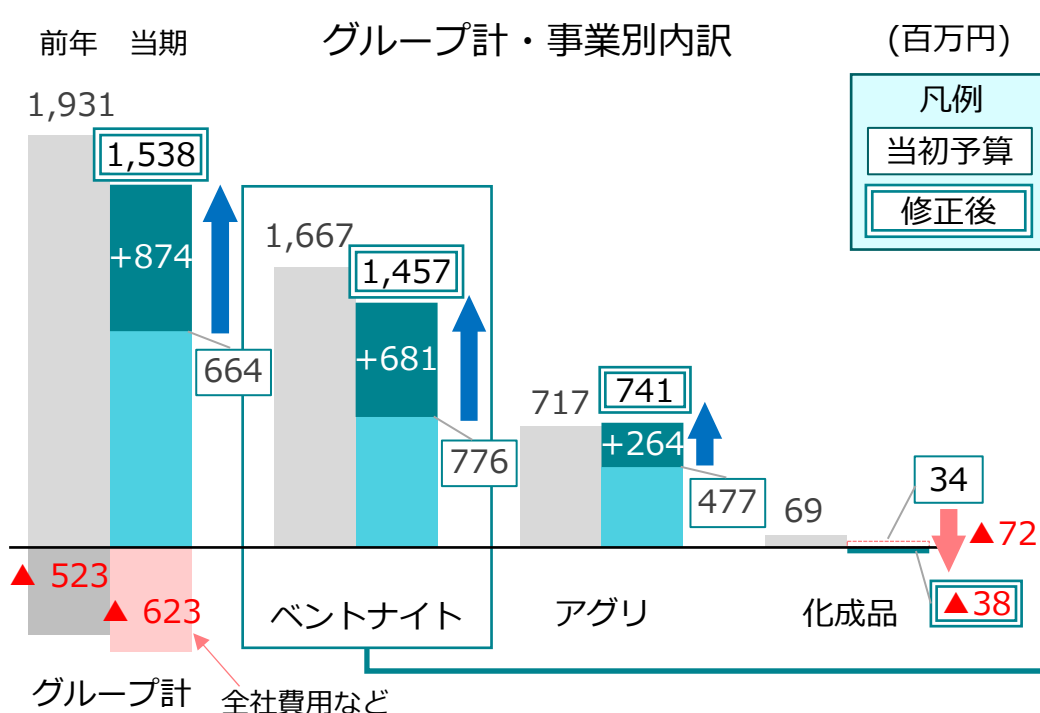
(予想)売上の増減内訳



※21.3期合計にライフサイエンス:40を含む

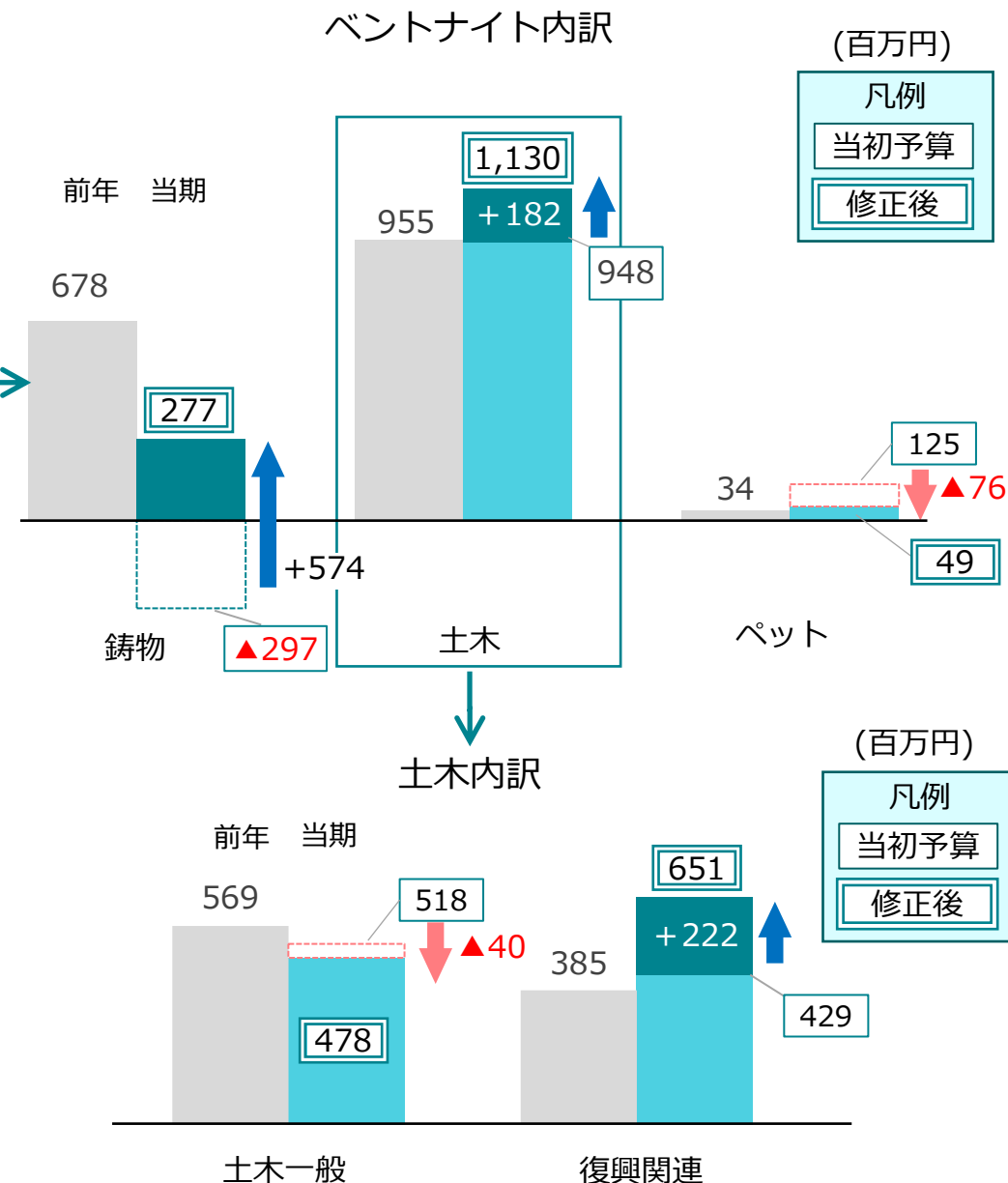
- グループ合計で前回予想から8億円の売上増加見込み
 - ・ 化成品は減少となるが、ベントナイトとアグリ事業が増加
- ベントナイト事業は鋳物分野が大幅に増加するが、土木とペットが減少
 - ・ 土木は工事関連が減少するが復興関連が増加

(予想)営業利益の増減内訳

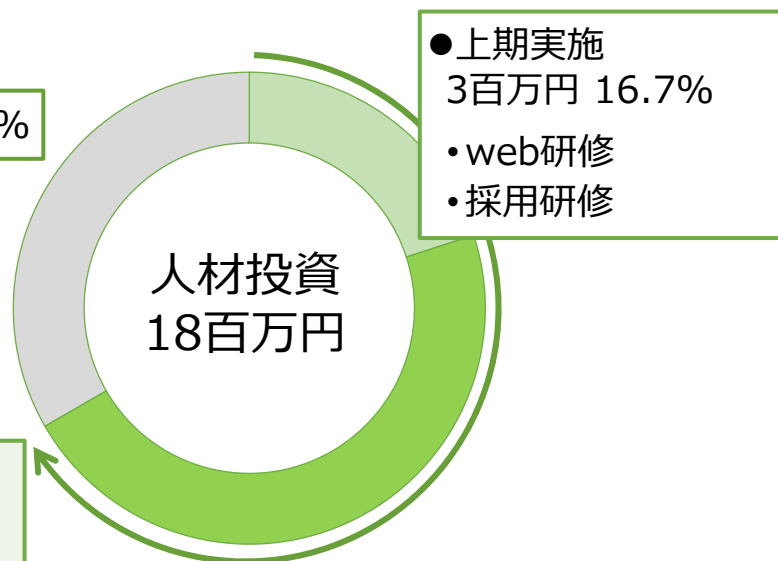


	事業別利益	全社費用	グループ営業利益
修正後	1,457+741-38=2,161	▲623	1,538
当初予算	776+477+34=1,287	▲623	664
前年実績	1,667+717+69=2,453	▲523	1,931

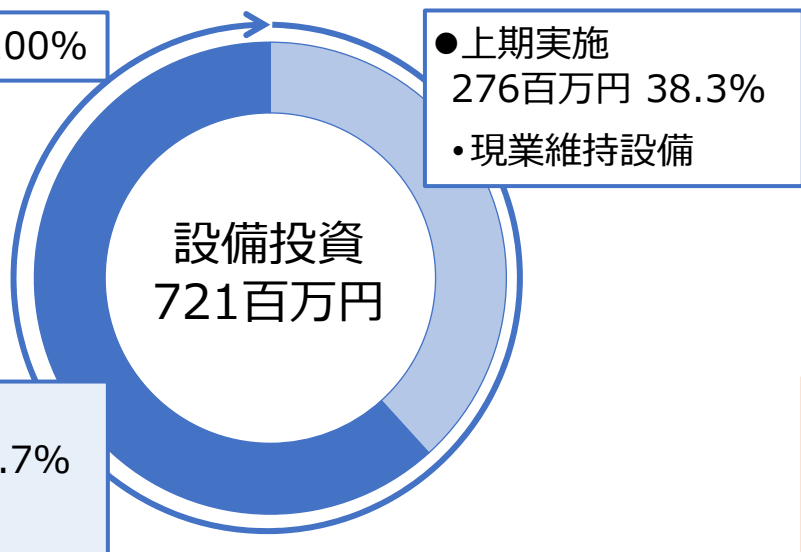
- グループ合計で前回予想から8.7億円の増加見込み
 - ・ 化成品は減少となるが、ベントナイトとアグリ事業が増加
- ベントナイト事業はペットが減少するが、鋳物と土木が大幅増加
 - ・ 鋳物は販売の回復に伴い、赤字見込みから黒字に転換
 - ・ 土木は工事関連が減少するが復興関連が増加



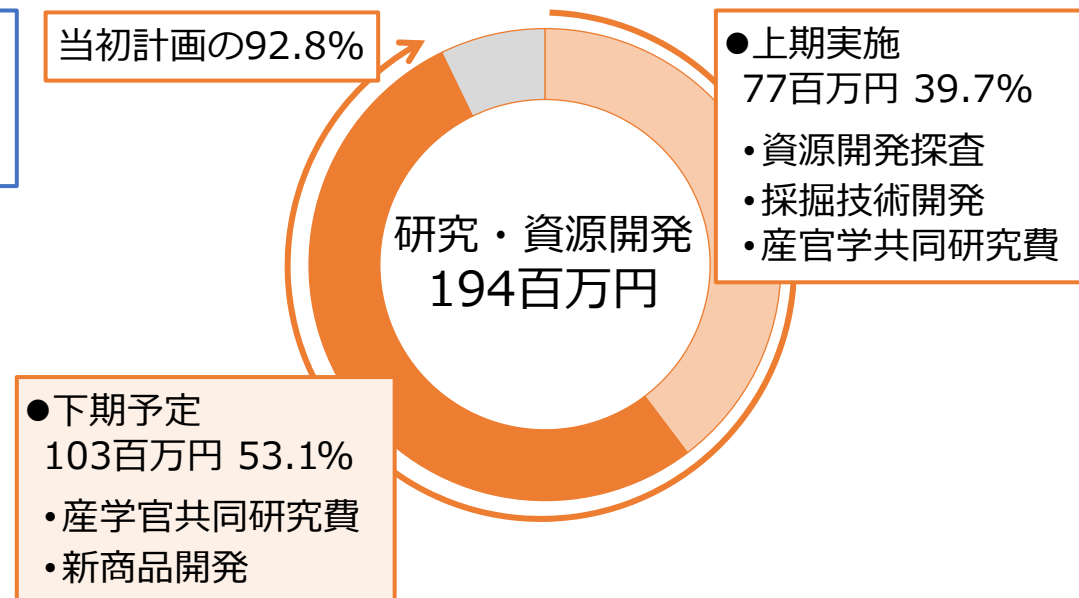
当初計画の55.6%



当初計画の100%



当初計画の92.8%



1 業績サマリー

2 2021年3月期 第2四半期決算概要

3 2021年3月期 通期見通し

4 中期経営計画 (2019年3月期－2021年3月期)

中期経営計画概要（2019年3月期－2021年3月期）

基本戦略

海外市場

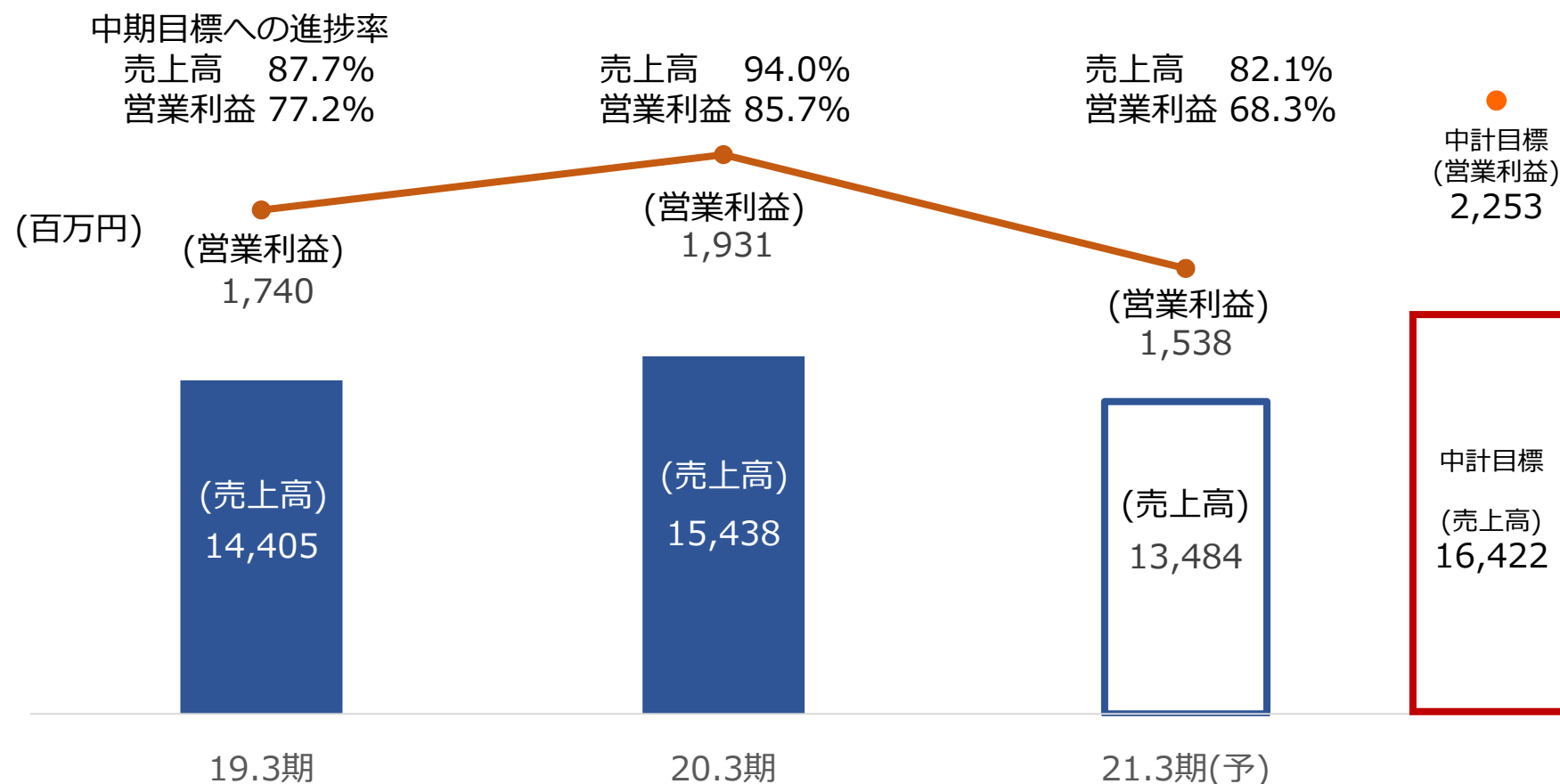
- ・高品質原砦の安定調達

国内基盤事業

- ・インフラ整備事業、復興事業の取り込みに注力
- ・IT化による生産性向上
- ・新鉱区開発、採掘技術開発

資源の利用高度化

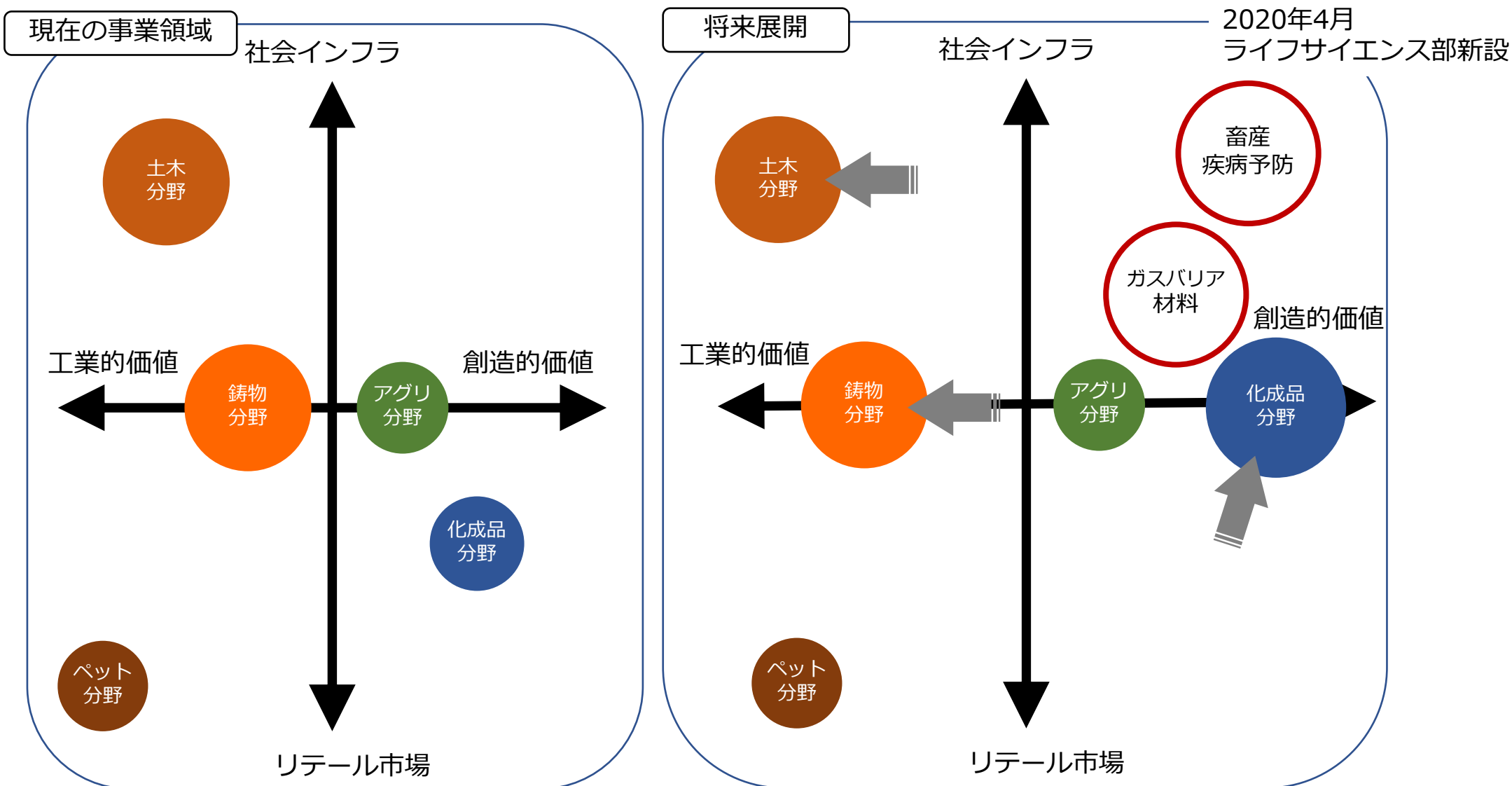
- ・既存技術を応用した新製品開発
- ・産学官連携による研究
- ・オンリーワン製品



基本戦略	主な取り組み・成果 今期の活動方針	課題
海外市場 ・高品質商品の安定供給	・タイ子会社躍進 (シェア拡大) ・クニピア第二工場新設 (生産能力倍増)	・新型コロナウイルスによる 経済活動の停滞 ・コロナ禍/ポストコロナにおける 営業活動 ・化粧品分野を中心とした 新規顧客開発
国内基盤事業 ・インフラ整備事業 ・復興需要の取り込みに注力 ・IT化による生産性向上 ・新鉱区開発、採掘技術開発	・復興需要増に対応するための供給体制の強化、感染防止策の徹底	・新型コロナウイルスによる 経済活動の停滞 ・インフラ工事分野への展開遅れ ・地熱発電工事の遅れ ⇒ 政治も動き始めている
資源の利用高度化 ・既存技術を応用した新製品開発 ・産学官連携による研究 ・オンリーワン製品	・ライフサイエンス部を創設 ⇒ 畜産疾病予防分野への展開 今期40百万見込 ・ファインケミカル、新用途開発注力 ⇒ ガスバリア用製品の販売開始	・新規分野の研究開発を担う 人材の確保 ⇒ 育成および拡充

事業へ影響を与える環境変化		機会	脅威
マクロ環境	コロナによる生活様式の変容 温暖化ガス排出量実質ゼロ目標 国内人口減 農業従事者高齢化 ASEAN諸国の所得増大	• 地熱発電拡大気運 • 放射性廃棄物処理拡大気運 • CO2埋設（CCUS） • 水稻用除草剤需要大（より使いやすい剤） • ASEAN市場の自動車生産増加による鋳物需要拡大	• EV化の加速 ⇒鋳物需要の減退 • 自動車販売不振 ⇒CASE、若者の車離れ
ビジネス環境	コロナによる生活様式の変容 温暖化ガス排出量実質ゼロ目標 CASEの潮流、人口構造変化による自動車需要減 国土強靱化需要の増加 災害復興需要の増加 新興国での化粧品市場のアップグレード化	• 国家政策に則ったベントナイトに対する需要の拡大 • 高品質グレードへの嗜好のシフト	• 国内自動車生産減 ⇒鋳物需要の減退

事業部門	重点課題 および 下期の重点施策
全社	資源を科学する
ベントナイト事業部 鋳物 土木 アグリ事業部 化成品事業部 ライフサイエンス	国内シェア拡大と海外新規市場の開拓
	タイ・インドネシア市場の開拓 ⇒コロナ禍により目下海外活動困難なるも、国内外シェア拡大に注力
	国土強靱化インフラ事業への展開 ⇒リニア・新幹線等、インフラ案件取込への営業活動に注力
	造粒技術の高度化 ⇒熟練技術員による高度化プラン策定
	クニピアの新規用途開拓 (化粧品をはじめとするファインケミカル分野の伸長) ガスバリア材料の研究開発の加速 ⇒本格展開に向け食品関係各社で評価中
	生産動物医療分野への参入 ⇒生産動物（牛、豚、鳥）をターゲットとした飼料添加物の拡販と技術蓄積に注力





ガスバリア材料

ターゲット

- ・ 食品・医薬品包装
- ・ 電子部品、電子デバイス
- ・ (中長期的) 水素貯蔵タンク
- ・ 防蝕防錆塗料

優位性

- ・ 高耐熱性
- ・ 天然無機材料



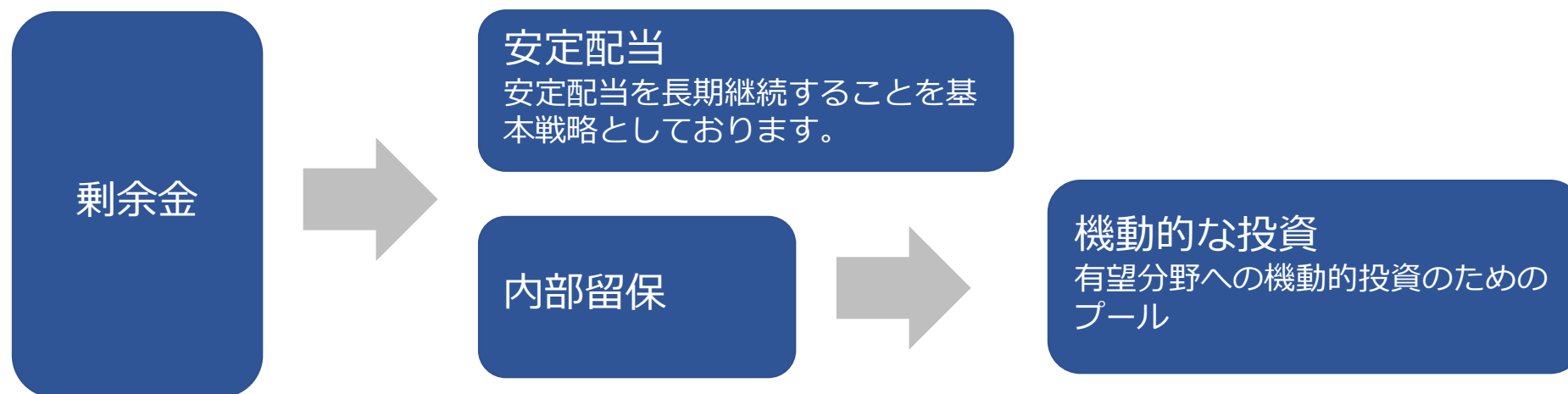
畜産疾病予防

ターゲット

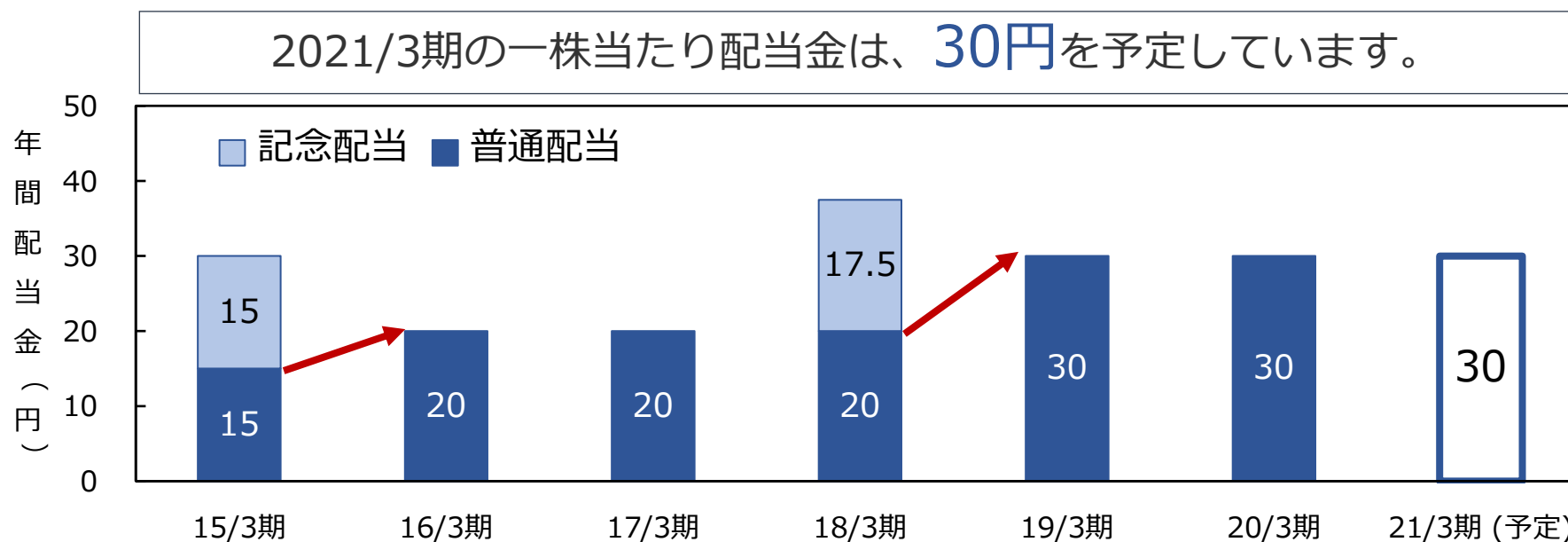
- ・ 飼料添加物
(細菌症による発育阻害予防)

優位性

- ・ 非薬剤のため摂取制限なし
- ・ 嗜好性の高い飼料添加物



上場企業の責任として、企業価値向上に努めるとともに、安定的な配当を継続しながら株主への利益還元を積極的に実施



ご視聴ありがとうございました。

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

IRお問合せ先

<https://www.kunimine.co.jp/toiawase/ir.html>

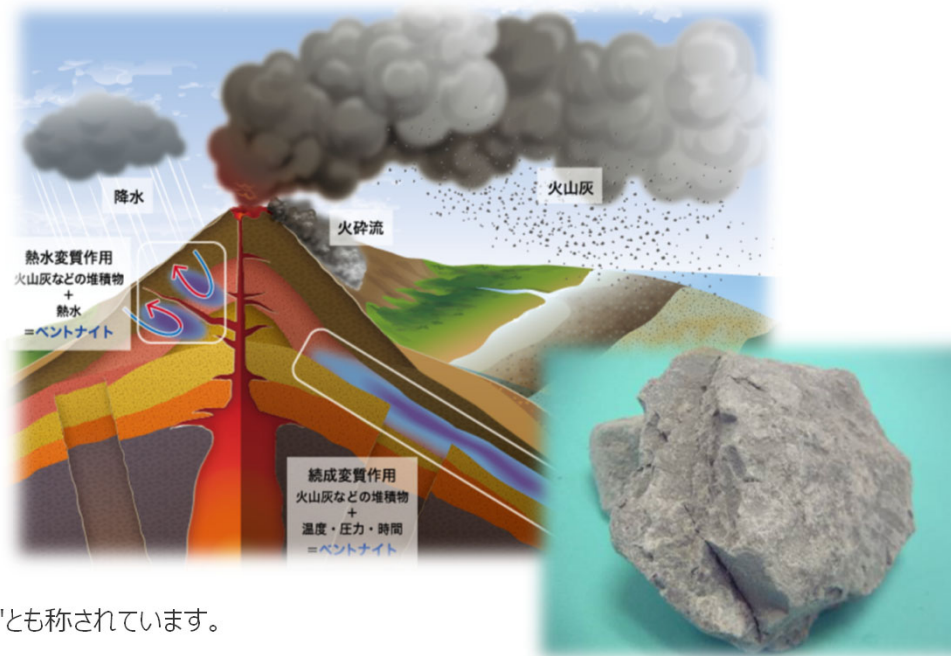
参考資料

クニミネグループを支えるベントナイト

●ベントナイトとは？

ベントナイトとは、粘土鉱物であるモンモリロナイトを主成分とし、石英や長石などの随伴鉱物を含んでいる弱アルカリ性粘土岩のことを言います。米国ワイオミング州のFort Bentonで発見され、その地名に因んでベントナイトと名付けられました。

ベントナイトは、水中で吸収すると膨潤し、さらに分散させると粘性を示します。また、各種陽イオンを吸着できる能力など、様々な特性を持っています。このような特性を有していることから、鋳物、土木建築、ペット用トイレ砂や化成品など、利用される産業分野は非常に多岐にわたっています。そのため、ベントナイトは"1,000の用途を持つ粘土"とも称されています。



参考資料

ベントナイト事業部門

鋳物部門



自動車や産業機械の部品となる鋳物を造るための鋳型は、ベントナイトを粘結材とした砂を成型することで造られます。この鋳型は生産性に優れたものであり、多くの鋳物生産に用いられています。

鋳物部門では、ベントナイト製品の販売のみではなく、お客さまに対し最良の生産環境を構築するためのサポートも行っています。

鋳物砂の分析を行っている黒磯研究所では、お客さまの様々なニーズに応え、当社グループ独自のトータルエンジニアリングサービスを提供しています。

主力商品

- クニゲルVAS ●クニボンドTY ●ネオクニボンド
- 「クニボンドM」シリーズ ●「クニボンドTY」シリーズ

参考資料

ベントナイト事業部門

土木建築部門

アースドリル工法などの杭基礎の掘削工事時にはベントナイト泥水を使用することにより、粘土分で孔壁に膜を形成し、水の浸透による孔壁崩壊を防止しています。また、ベントナイトの遮水性を活かし、一般廃棄物処分場の遮水工事に



※「クニシール」



ベントナイト混合土が用いられているほか、「クニシール」や「クニシート」の止水材が、主に地下構造物の防水材料として使用されています。

放射能汚染廃棄物の処分場向けにおいても、環境負荷が少なくコストパフォーマンスに優れるベントナイトのニーズが高まりつつあり、再生可能エネルギーである地熱発電や海底資源掘削向けなどを中心にボーリング需要も増加しています。

主力商品

- クニゲルV1 ●クニゲルV2 ●クニゲルGT ●クニゲルVO
- クニゲルGS ●クニゲルU ●佐渡 ●「クニシール」シリーズ

参考資料

ベントナイト事業部門

ペット関連部門



ベントナイトの高い吸水性と粘結性を利用し、ペットの尿などの排泄物を固め、手軽に処理するペット用トイレ砂は、私たちの最も身近なベントナイト製品です。

今後は自社製品の取り扱いのみではなく、他ペットメーカーや大手小売店とのPB品の開発も進めるなど、お客さまのニーズへの柔軟かつ迅速な対応を図ってまいります。



主力商品

「猫砂1番」シリーズ ●猫砂1番 ●猫砂1番金印 ●猫砂1番大粒

参考資料

アグリ事業部門について

アグリ事業部門

製剤技術に強みをもつ当社グループでは、農薬加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農薬メーカーなどから農薬の加工を受注しています。

農薬業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーションを防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳しく求められています。



主力商品

- クレー細粒剤 ● クニゲルV1 ● 天竜
- クニピアF ● クニピアG ● スメクトンSA



参考資料

化成品事業部門について

化成品事業部門

ファインケミカル分野のうち、ベントナイトの主成分であるモンモリロナイトの純度を高めた精製ベントナイト「クニピア」は、保湿性や伸展性、増粘性が向上し、私たちの毎日の生活に欠かせない化粧品・塗料・医薬品などに配合されています。

また、合成スメクタイト「スメクトン」は、高粘性や高チクソ性を発揮する特長を活かし、透明性のある増粘剤や機能性向上剤として、幅広い分野で利用されています。

「環境保全処理剤」は、清掃工場の大気汚染防止など、排ガス処理工程において利用されています。

主力商品

- 「クニピア」シリーズ ●「スメクトン」シリーズ
- 「モイストナイト」シリーズ ●環境保全処理剤

